子供の力、学校の力

職場の異動が決まりました。

家から職場への方向は正反対になります。

現職場4年間と前々職場を含めると8年間同じ道を通りました。

その道路の歩道に、ある「小さな」小学生が登校していました。小さいという意味は学齢と体格両方を含みます。初めて見たときは、体格よりランドセルの方が大きいのでは、と思うほどの児童でした。初めのころは、保護者に連れられて登校していましたが、見るからに大変そうでした。風雨の日はレインコートを着てさらにきつそうでした。

しかし、最近、中学年になっているのでしょうか、小走りで、登校しています。途中、学校安全ボランティアのおじさんと挨拶して笑顔で通り過ぎます。

子供の成長はすばらしいものです。

さて、自分のことですが、保育園に行っていたころ、体が弱く、ひんぱんに下痢になったり風邪をひいていたそうです。母親や近所のおばちゃん達は、「なあーん、学校行ったら強なるもんや」といってました。まさにその通りで、小学校入学後は風邪もほとんどひかず、元気になりました。

たぶん、発達とともに体が強くなるのでしょう。それと、学校へ自分で歩いて登校し、鍛えられるのだと思う。友達もでき、勉強などにも興味を持ち、自ら生きる目標が出てくるのでしょう。

今様々な課題が学校周辺にあるようですが、本来学校にはこのような力、隠れたカリキュラムのようなものがあると思っています。

子供も保護者もわくわく希望を持って入学して来ます。もちろん不安もある子供や保護者もいるでしょう。しかし、学校の力で、子供と保護者のベクトルを良い方向へ導いていきたいものです。

がんばりましょう！